

(2)-② 地域公共交通の利用促進

【不転載の決意で【渋滞解消】を実行】

新

予算額37百万円（21百万円）

くまもと新時代モビリティ・マネジメント推進事業
[交通政策課]

- 公共交通を取り巻く環境については、利用者減や担い手不足等により全国的に減便や路線廃止が相次いでいる
- 熊本市内の平均旅行速度や主要渋滞箇所数は3大都市圏を除く政令指定都市で全国ワースト1であり、TSMCの進出に伴い海外や他県からの新たな人材の流入等も予想され、マイカー利用を前提とした道路整備だけでは渋滞解消の流れは作り出せない
- 県を含め、様々な団体を主体とした事業を推進し、県民の意識改革・公共交通利用促進を図る

＜現状・課題＞

○ 地域公共交通利用者の減少

- ・公共交通の利用者数・運行距離が年々減少している

(参考) 熊本地域路線バス共同経営推進室調べ
(R5.9公表)



○ 交通渋滞に伴う経済損失

- ・熊本県民の渋滞損失は、一人当たり約13～17万円/年（平成30年市町村民経済計算より）

公共交通の現状を踏まえ、過度な自動車利用から行動変容を促すために、子どもから高齢者まで全世代の県民に働きかけることが必要。

＜事業・概要＞

○全体事業費 37百万円

○事業内容

- (1) 「みんなで乗ってみんなで支える」公共交通キャンペーン事業 20百万円
県が先頭に立って県民の意識改革・利用促進キャンペーンを実施
- (2) 公共交通利用者増対策支援補助金 15百万円
交通事業者で構成される共同経営推進室が行う公共交通利用促進事業への定額補助
- (3) 菊池南部地域公共交通利用促進事業 2百万円
セミコンテクノパーク周辺の交通渋滞対策のために、企業等が公共交通利用促進に取り組む経費への助成（上限:50万円/1団体）

○負担割合 (1) 県10/10

(2) 県10/10

(3) 県1/2、国1/2

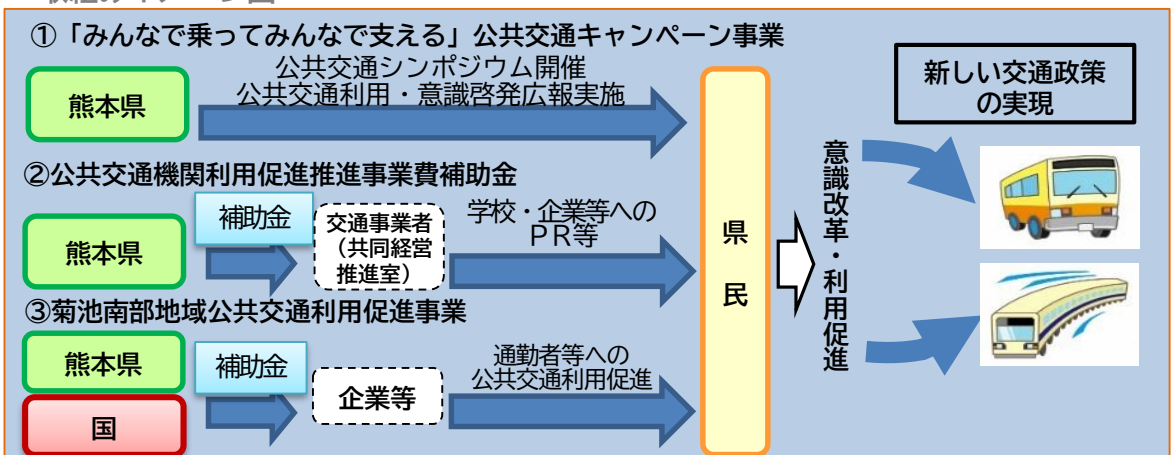
重点支援交付金

デジ田交付金

○事業主体 (1) 県 (2) バス事業者 (3) 企業等

○事業期間 (1) (2) 令和6年度 (3) 令和5～7年度

＜取組みイメージ図＞



令和7年(2025年)県民手帳 掲載予定

【バス】共同経営推進室の取組み紹介

バスがますます使いやすくなりました
便利なサービスのご紹介

その1 全てのバス会社の時刻表を1つに表示！

時刻表改正もスグ反映
印刷すると... さらに見やすい

パソコン・タブレット表示用
※スマホでは表示が見え辛くなります

Myバス時刻表

<https://mytt.kumamoto-toshibus.co.jp/>
(熊本県・市、バス会社各社HPのリンクからも御利用頂けます)

その2 バスの運行状況をリアルタイムに確認！

「今どこ走ってるんだろう？」
「もう行っちゃったかな？」

バスの位置情報が常に把握できる！

バスきたくまさん

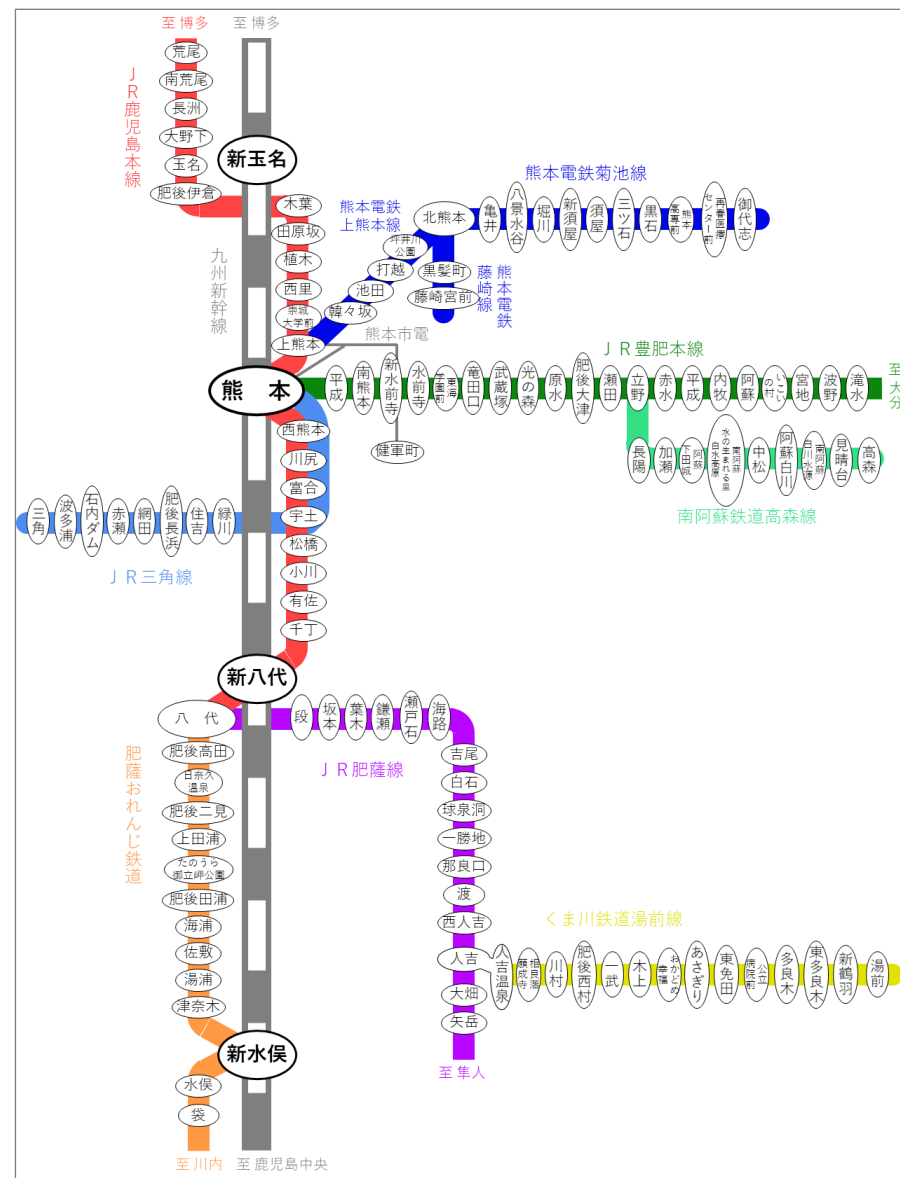
<http://www.bus-kuma.jp/>

どちらもwebでの利用なのでインストールは不要！

バスのご利用よろしくお願いします

熊本の路線バスの未来を担う
共同経営推進室

【鉄道】県内鉄道路線図



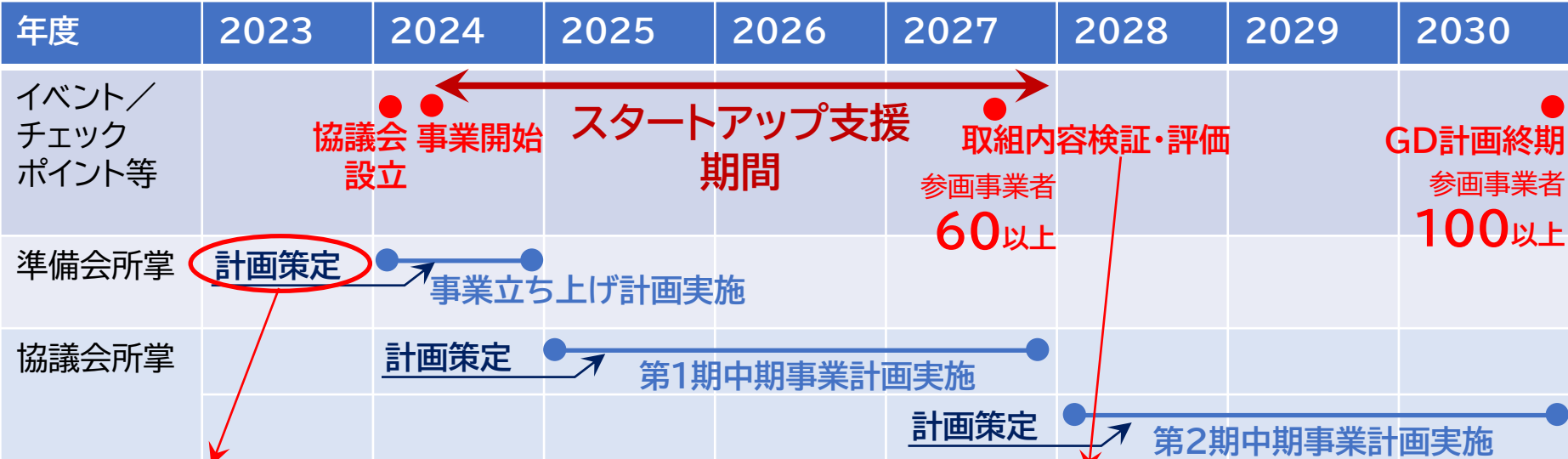
九州MaaS



住民や観光客等の移動円滑化や異分野との連携を通じた
移動需要の創出に取り組み「公共交通の利用促進」
「九州観光の振興」「多極交流の実現」を達成する

九州MaaS実行組織準備会事務局

九州MaaS：中長期スケジュール



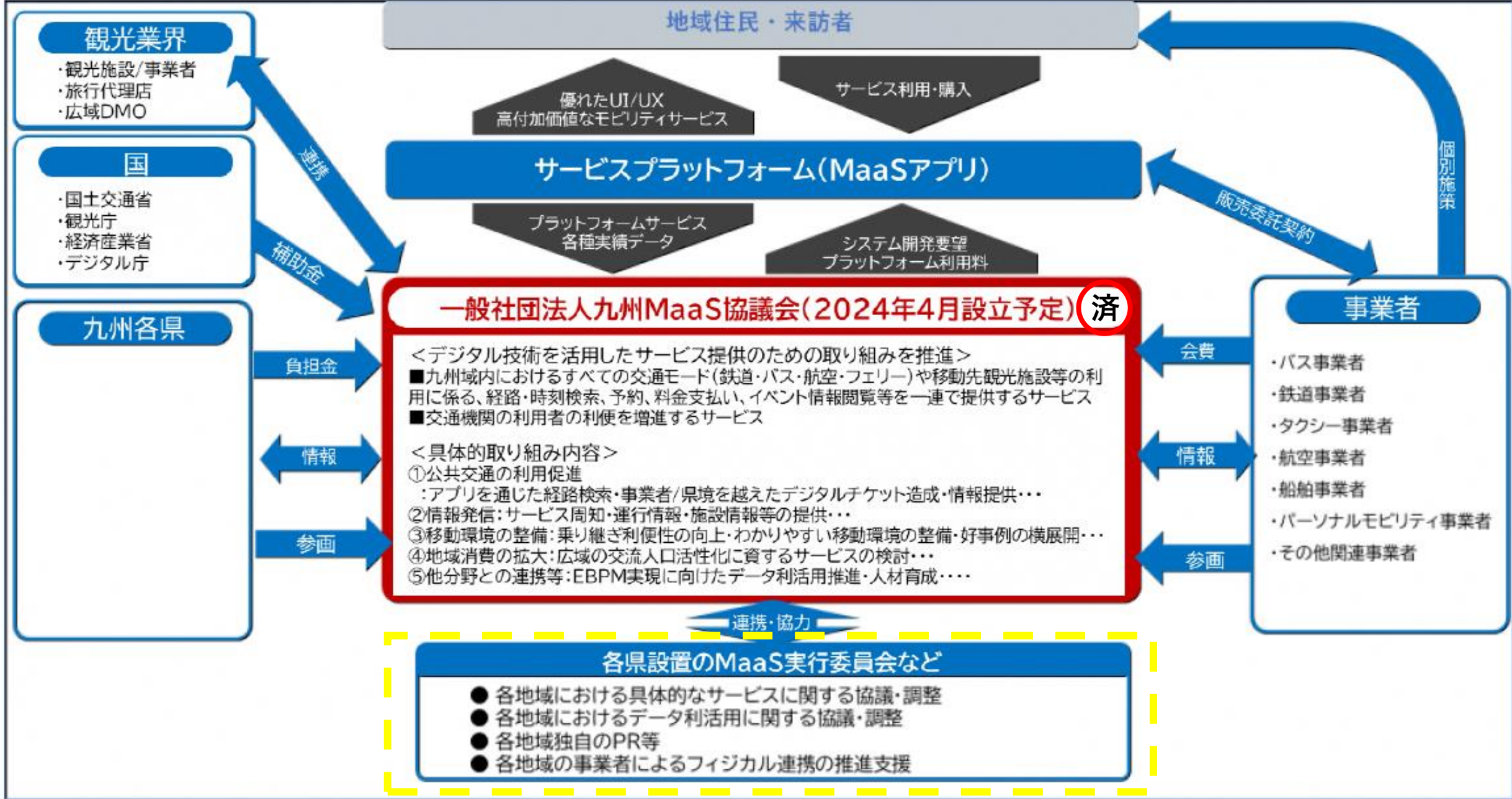
計画の柱

- (1)公共交通利用促進
 - ①サービスプラットフォーム選定
 - ②サービスコンテンツ検討
 - ③参画事業者拡大
- (2)情報発信(プロモーション)
- (3)移動環境整備(フィジカル連携)
- (4)地域消費の拡大
- (5)他分野との連携等
 - ①データ利活用 ②人材育成等
- (6)協議会運営

2027検証の要点

- ①自治体(地域)と事業者の受益の程度
 - ②交通事業者等の経営状況
(コロナ禍からの需要回復状況)
 - ③その他、事業の進捗状況
(参画事業者の拡充状況等)
- の3点について十分検証した上で、負担割合の適否を判断する。

九州MaaS 運営組織等について



■接点のなかった企業の共創による新たな移動サービス(宮崎県)

- 宮崎MaaSは**JR九州・宮崎交通・宮崎トヨタ自動車**が連携して運営。
- “my route”から「トヨタシェア」(宮崎トヨタ自動車運営)の予約・利用が可能。10駅にステーションを新設。(宮崎・南宮崎・南延岡・高鍋・都城・青島・飫肥・日南・油津・南郷)
- 宮崎県内の**シェアサイクル「PiPPA」**も**宮崎トヨタ自動車**が運営。
- 鉄道・バスとトヨタシェア・シェアサイクルPiPPAを組み合わせた新しい移動スタイルを提供。
- 今年のmy routeの高千穂エリアでのサービス開始に合わせ、**高千穂バスセンター横にもカーシェアを設置。**

これまで**接点のなかった企業との連携で新たな移動サービスを構築し、MaaSを推進**



超小型EV C+pod
青島エリアで実証中



■観光との共創・交通事業者間の共創（熊本県阿蘇）

- 今夏、阿蘇で**熊本県・交通事業者・JTBの連携**で、**九州産交バス・JR九州・南阿蘇鉄道の周遊パス**を発売。
- デジタルチケットを活用し、**観光施設の特典も**受けられるフリーパス**(24時間券)**を発売。



乗り物にのる



★この画面を乗務員・駅係員にはっきりと提示してください



特典を受ける



★この画面を店舗スタッフにはっきりと提示してください



③乗り物にのる
or
特典を受ける

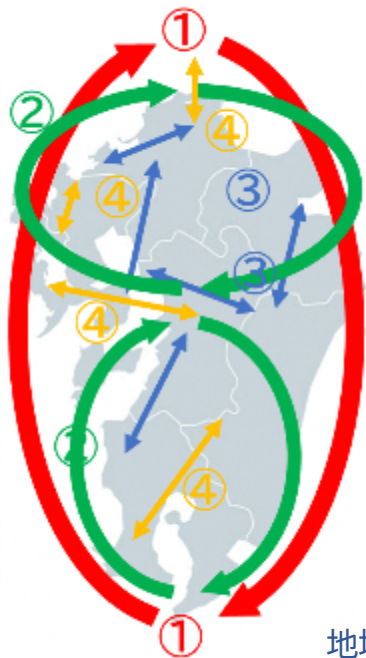
特典の内容や対象店舗はmy route内
「熊本エリア特集記事」もしくはチケットHPをご覧ください

九州MaaS:事業の主な柱 広域周遊・滞在期間増に資するサービス展開の方向性

- ▼参画交通事業者や各県、九州観光機構との連携により、九州内の旅行(インバウンド・国内)の回遊性、利便性の向上に資する、交通事業者や県境・地域をまたがる広域的サービス提供を推進。
- ▼九州統一プラットフォームを通じた販売を行い、エリア観光情報の提供もサービスプラットフォーム上で実施。
- ▼他の事業分野・地域のコンテンツ(観光・商業・飲食・アクティビティ・イベント等)とも連携したサービスの拡大・充実を図る。

九州一体となった
取り組み・統一サー
ビスPFの活用で
実現可能に

交通機関
単体のサービス



地域コンテンツとの
連携深度化

	事例(※イメージ例)	概要
①九州広域	Kyushu Rail Pass	JR全線
	SUNQパス(全域)	路線バス・高速バス全線
	九州周遊パス	インバウンドの回遊・滞在期間増に資する九州域内のバス・JRが利用可能なチケットの新規設定
②エリア広域	北部九州版SUNQパス	路線バス・高速バス
	南部九州版SUNQパス	路線バス・高速バス
	北部九州版Kyushu Rail Pass	JR全線
	南部九州版Kyushu Rail Pass	JR全線
③県境またぎ	熊本～熊本空港～阿蘇～高千穂	バス・鉄道各社
	JR/肥薩おれんじ鉄道 鹿児島・熊本周遊	鉄道各社
	福岡～大牟田・三池港～島原～雲仙	鉄道・バス・船舶各社
	別府～由布院～やまなみハイウェイ～阿蘇～高千穂～宮崎	バス各社
④コンテンツ連携	えびの～霧島～鹿児島～指宿 温泉巡り	交通事業者のチケット + アクティビティ予約・などをセットで商品化
	長崎～島原半島～天草～熊本 世界遺産巡り	
	北九州市内～門司港～下関 関門エリア周遊	
	唐津～伊万里～有田～波佐見～ハウステンボス 窯元巡り	

2024年度
早期に実装

2025年度以降
随時展開

2025～26年頃より
機能開発・観光素材の
整備と合わせて
随時展開

「サービスコンテンツWG」を通じ、サービス内容・展開ステップの検討・拡大・充実を図る。

※上記はあくまでイメージ。各県実行委員会、交通事業者、各県、観光団体、観光施設、サービスプラットフォームベンダー、九州観光機構など関係者が連携して実装を進めることが必要。